

# 2022年 第35回 和歌山コールドカップ

## レース公示(Notice of Race)

### 1.主催団体

主催

和歌山県セーリング連盟

運営

B&G和歌浦海洋クラブ、和歌山ジュニアヨットクラブ、NPO法人和歌山セーリングクラブ

### 2.規則

2.1 セーリング競技規則(以下 RRS とする)定義された「規則」。

2.2 RRS 付則 P を適用する。

### 3.広告

主催団体は各競技艇に対し大会スポンサーの広告を艇体に表示するよう要求する場合がある。

### 4.競技種目

OP 級「A クラス」(上級者)、「B クラス」(初心者)

Laser4.7 クラス、Laser Radial クラス

### 5.資格および参加

5.1 2021 年度日本セーリング連盟会員の者。及び OP 級 A クラスの出場者は 2021 年度日本 OP 協会会員の者。

5.2 大会ホームページ(<https://wsail.jp/>)から、2022 年 1 月 30 日(日)までに必着で、[参加フォーム](#)に記入し、加えて参加エクセルデータを送信すること。

なお、サポートボートを使用する場合は、サポートボートの登録を大会受付で行うこと。

申込み先

和歌山セーリングセンター

TEL 073-448-0251、Mail [info@wakayama-sailing.org](mailto:info@wakayama-sailing.org)

5.3 新型コロナウイルス感染症拡大防止についての参加条件(A-2)を理解し、遵守すること。

### 6.参加料

6.1 5,000 円/艇 ※2/12~13 のマリーナ使用料を含む。

6.2 参加料は大会受付で徴収する。

### 7.日程

2 月 12 日(土)

09:00~09:25 大会受付

09:30 開会式・艇長会議

10:55 最初のクラスの 1 日目第1レースの予告信号

引き続きレースを行う。

2 月 13 日(日)

09:25 最初のクラスの 2 日目最初のレースの予告信号

引き続きレースを行う。

ただし、13:30 以降に予告信号が発せられることはない。

16:00(予定) 閉会式、表彰式

7.2 本大会は最大 7 レースまでとする。

7.3 各日とも海上での昼食を予定しているので、各自で用意のこと。

### 8.計測

8.1 [DP] 損傷または紛失した装備品の交換はレース委員会の書面による承認がなければ許可されな

い。なお、損傷または紛失した装備品の交換が海上の場合には、損傷または紛失したことが海上のレース委員会によって確認された後、許可される事がある。交換した装備品は、その日のレースの終了後にレース委員会の書面による承認を得なければならない。

8.2 大会期間中に、陸上、海上を問わず計測が行われることがある。

## 9.帆走指示書

帆走指示書は2月8日までに大会WEBサイトで公開する。

## 10.開催地

和歌山ナショナルトレーニングセンター(和歌山セーリングセンター)及び和歌浦湾

## 11.コース

トラペゾイドコースとする。詳細は帆走指示書に示す。

## 12.得点

12.1 1レースの完了で本大会は成立する。

12.2 (a) 完了したレースが3レース以下の場合には、全レースの合計得点とする。

(b) 完了したレースが4~7レースの場合には、最も悪い得点を除外した合計得点とする。これは付則A2を変更している。

12.3 NOR13、14による得点ペナルティーがDSQよりも得点が悪くなる場合は、得点ペナルティーはDSQと同じ得点とする。

## 13. [DP] 安全

海上では常に適切な救命胴衣(ライフジャケット)を着用しなければならない。ウェットスーツおよびドライスーツは適切な救命胴衣とは見なされない。もし、救命胴衣の浮力装置が膨張式のものであれば、海上では常に膨張させた状態で着用しなければならない。これはRRS40を変更している。

## 14.支援艇

14.1 [DP] 支援艇はレスキューボートとみなされ、以下の条件を満たす場合のみ使用を許可する。

- a) 参加申し込み時に申請用紙にてレース委員会に使用を申請し、許可を受けること。申請、許可なき艇の出艇は認められず、乗艇者数を2名以上、定員の1/2以下と制限する。
- b) 支援艇はレース委員会が支給する『ピンク色』旗を掲揚しなければならない。
- c) 常時は支援艇として航行範囲の制限を守り、レース委員会からレスキューボートとしての要請があれば、いつでもこれに応じること。この要請があった場合のみ制限範囲内への進入を認める。
- d) ハーバーに対する搬入手続きおよびハーバー使用料支払いは、各自で行うこと。
- e) 支援艇は、ヨットモータボート保険(対人対物賠償責任保険及び搭乗者傷害保険を含む)に加入していなければならない。

14.2 海上でレース委員会から支援艇への支援要請は、レース委員会艇に『ピンク色』旗を掲揚して通告する。

14.3 [DP] 支援艇の運行についてレース委員会の指示に従わなかった場合は、運行の停止を命じることがある。加えて支援艇が関与する選手に罰則が与えられる場合がある。

## 15. 賞

15.1 OP級「Aクラス」、「Bクラス」、Laser4.7クラス Laser Radialクラス 各1~3位

※但し参加艇数により変更する場合がある。

## 16.責任の否認

このレガッタの競技者は自分自身の責任で参加する。RRS4「レースをすることの決定」を参照。主催団体等は、レガッタの前後、期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任を負わない。

## 17.その他

17.1 OP級Aクラスの上位者に、2022年度OP級全日本選手権出場資格が与えられるよう日本OP協会に申請する。

## 18.大会事務局(参加申込先)

和歌山セーリングセンター

〒641-0014 和歌山市毛見 1514 番地、TEL 073-448-0251、FAX 073-494-3252

Mail [info@wakayama-sailing.org](mailto:info@wakayama-sailing.org)

大会WEBサイト(和歌山セーリングクラブホームページ内)

<https://wsail.jp/>

和歌山セーリングセンター 営業時間9:00~17:00 火曜日定休日

### A-1 チャーター艇

OP級のチャーター艇は、先着順で10艇とする。

チャーター料は大会期間中で6,000円となる。

### A-2 新型コロナウイルス感染症拡大防止についての参加条件

A-2.1 大会関係者(運営・選手・支援者)は、大会2週間前から体温測定を行い、記録すること。

A-2.2 大会当日は来場前に体温測定を行い、発熱(37度以上)していないことを確認した後、会場に来ること。また来場時は必ず体温測定を受けて発熱の無いことを確認すること。

A-2.3 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること

- ・発熱している。(37度以上)

- ・体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)

- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

A-2.4 マスクを持参すること(陸上では必ずマスクを着用すること)

A-2.5 こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒の実施

A-2.6 ソーシャルディスタンスを確保すること(できるだけ2m以上/障がい者の誘導や介助を行う場合を除く)

A-2.7 大きな声での会話、応援等をしないこと

A-2.8 感染拡大防止のために主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従うこと

A-2.9 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対してすみやかに濃厚接触者の有無等について報告すること

A-2.10 スマホ所持者は接触確認アプリを利用すること。